

公表日 2024年 12月 20日

事業所名 ごぼんはうさくら 広島井口教室

保護者等数(児童数) 25名 回収数 18件(割合72%)

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	14	1		3	他教室へ体操やボウリングへ行ったり、活動に応じてスペースを確保されていて良いと思います。	イベントに合わせて、教室を移動したり、スペースを確保する対応を続けていく。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	12	1		5	本人に合わせてできることをさせていたいただいてありがとうございます。(食事・トイレ等)	児童に合わせて職員を配置していく。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	14	1		3	ほとんど訪れる事がないので、あまり覚えていないのですが、分かりやすくロッカーを準備してあったり、ホワイトボード?にスケジュールを示してあり、良いと思います。	保護者様にとって、見えづらい環境とならないように、活動写真や療育内容などで説明していく。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	16	1		1	室内が明るい雰囲気ですとも良いと思います。	清潔に過ごしやすい環境づくりを続けていく。
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	17	1			本人に合わせて支援していただけてとても感謝しています。	お子さまへ適切な支援を行えるように専門性を高めていく。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	16			2	ご意見なし	
	7 こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。	17			1	いつも面談や計画書を定期的に作ってらっています。保護者の思いをきちんと聞いて下さっていると思います。	保護者様のニーズをきちんと拾っていく。
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	15	1		2	ご意見なし	
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	16	1		1	ご意見なし	
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	16			2	毎日、色々な活動をして下さっているように、楽しく集中してできるプログラム	
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	8		1	9	幼稚園へのお迎えと、午後からの登所にご	職員を増やし、幼稚園や保育園へのお迎えも対応できるようにしていく。
保護者 への 説明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	18					契約時に説明をしている。分からない場合には、個別でその都度対応している。
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	18					電話での対応も多いため、分かりづらい面もあると思う。保護者様が理解できるように、努めていく。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	8	1	2	7	講演会と放デイの紹介はとても勉強になりました。子どもにそった支援方法のプリントをく	西区や広島市からくる講演会の情報などを保護者に送付するようにしていく。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	15	1		2	ひらがなやカタカナなど、おかげさまでかなりスムーズに読めるようになっていますが、書くこと(お絵かきも含む)が苦手	保護者様からのご意見を拾い、支援に役立てられるようにしていく。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	15	1	1	1	利用頻度が少ないため	面談についての案内を出し、定期的な面談につなげていく。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	17	1			一時期、子どもの痲痺が激しく、心が疲弊している時TELをくださり、プランのみなおしも考えてくださいました。	児童一人一人を大切に、保護者様の負担に寄りそった対応を心掛けていく。
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	2	2	1	13	ご意見なし	保護者様からの要望が多い点である。保護者様同士の交流の場を設けられるように計画していく。
19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	15	2		1	ご意見なし	面談や相談は個別に対応している。困りごとがあれば、LINEやリトムなどで連絡してもらい、スタッフが対応する。面談を受け付けていることを周知していく。	

保護者への説明等	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	17		1	毎日の連絡帳や前回の面談では普段の子どもの様子を知る事ができ嬉しいです。	普段の様子を送迎時やリトムなどで詳しく伝えていく。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	16	1	1	日誌やSNSや先生からの話で本人の様子を聞けています。	保護者様に分かりやすく、情報を発信していく。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	15	1	2	ご意見なし	児童同士の交流を保護者様に伝える際にも、個人情報が知られないように配慮している。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	14	1	3	ご意見なし	マニュアルは作成されているが、周知方法に問題があり、保護者様に知られていない現状がある。改善の余地がある。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	11	1	6	訓練されているとは思いますが、その様子を直接は見ていないため	支援現場を直接見学できる機会や茶話会などを企画し、知ってもらえる場をていきょうしていく。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	15		3	ご意見なし	
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	15	1	2	ご意見なし	緊急時の連絡方法が統一されていない節がある。緊急時の対応について、考えていく。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	17		1	ご意見なし	スタッフの変わらない態度に安心感を覚え、来所を楽しみにしてくれることに繋がっている。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	17		1	ごぼんの車が来るのをたのしみにしています。 お友達と関わっている様子を連絡帳で知	楽しみにしていただけるように子ども達と触れ合っていく。
	29	事業所の支援に満足していますか。	16	1	1	いつも手のかかる子に寄りそって頂いてありがとうございます。 専門的なこと(言語や姿勢矯正など)は難	研修などを積み重ね、専門性を高めていき、保護者様のニーズに応えられるようにしていく。

公表日 2024年 12月 20日

事業所名 こぼんはうすさくら 広島井口教室

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	10		児発と放デイの部屋を臨機応変に使用している。	児発も放デイもいる時には、各自の部屋の中で活動を済ませる必要がある。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	10		午前中は児発を中心に、午後からは放デイを中心にスタッフを配置するようにしている。	放デイの送迎の際には、現場が手薄になってしまいがちである。スタッフ間の声掛けが必要である。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9	1		子ども達には分かりやすい環境となっているが、保護者様がその状況について知る機会が少ない。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	10		清潔にし、子ども達が活動しやすいようにおもちゃなどを整理している。	子ども達が中心となって片付ける習慣に繋がっていくように支援する必要がある。
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	10			個別に使用できる部屋がない。教室の構造上、一人に慣れる場がない。
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	9	1		日々忙殺され、振り返りが難しい。ミーティングなどで目標を設定し、振り返りができるようにしていく。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10			年1回の自己評価アンケートのみ。保護者の意向をすくいとれるツールを考えていく。
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10		ミーティングやケース会議、何気ない会話の中で職員の意見を交換している。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	8	2	数か月に一度、担当バイザーがアドバイス	
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	10		研修案内を貼りだし、受けた研修があれば積極的に受講できるように支援している。	研修を受けるための補助が少なく、現場の運営のため希望した者全員が参加できない時がある。
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	10		子ども達が飽きないように、イベントを考えている。	毎日通う子は、同じようなイベントだと飽きて参加しなくなる。
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	10			現場スタッフから子どもの様子を聞き取り、まとめる時間がとりにくい。紙面などのツールを上手に使っていく。
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	10		ミーティングやケース会議を利用している	普段、会議に参加しないスタッフにも聞き取りを行い、児童への理解を深められるように、多くの視点を取り入れられるようにする。
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	10		個別の日報に、個別支援計画を差し込み、いつでも確認できるような配慮をしている。	
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8	2		標準化されたツールがなく、日々の観察に頼っている節がある。使いやすいツールの開発が求められる。
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	5		
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	10			児童からの要望も聞きつつ、飽きないようなプログラムを探して、考えている。
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	10		幅広いプログラムが考えられている。	固定児童によっては難しいプログラムがあり、曜日によってはプログラムが固定されてしま
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	10		時間や空間を分け、個別と集団活動を行っている。	
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9	1	朝、その日のプログラムを話し、役割分担や担当などはホワイトボードで示すようにしている。	
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	3		職員からその日の様子を聞くが、共有がその次の日になってしまう。LINEなどですぐに共有できる体制をとる。
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	10		連絡帳や業務日誌、個別の活動日誌などで、記録を残している。	
	23 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	10			数か月に一度しか来ないお子さまだと、見直しが必要な場合がある。計画を見直す必要も出てくる。

関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	10		児発管がスタッフから児童の情報を聞き、要点をまとめて、参加している。		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	6		積極的な連携を取れていないため、少しずつ連携を取れるように体制を整えていく。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	5	児発管が保育園や幼稚園に赴き、連携をとる基盤を整えてきている。		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3	7	保護者様に児童情報を渡し、間接的な連携を取っている。		
	28	(28~30は、センターのみ回答)					
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。					
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。					
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。					
	31	(31は、事業所のみ回答)				児童情報など共有し、保護者の情報なども取り入れている。	
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	3	7			
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	1	9	地域のお祭りや文化祭などに赴き、地域住民とのかかわりを持っている。		
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	10		連絡帳やLINE、送迎時に口頭で説明等している。	連絡帳や送迎時の説明だけでは足りず、写真で活動の様子を希望する保護者様もいる。システムを作ればと思う。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	6		保護者様からのニーズも高まっており、開催を検討するが、開催した経験を持つスタッフがおらず、ノウハウがない。	
	保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	10		契約時に行い、分からない時には個別に連絡相談を受け付けている。	
36		児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	10		お聞き取り表などを配布し、保護者様や児童の意思を確認している。		
37		「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	10		電話や対面などで説明をし、確認を得てから、個別支援計画を渡している。		
38		定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	10		更新時には面談を行い、保護者様からの要望があれば、希望に沿って面談を設定することもある。		
39		父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		10		保護者様からのニーズもあり、茶話会などを企画している。ペアトレ時と同じく、ノウハウがなく、計画段階である。	
40		こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	10		保護者様からの相談には、電話や面談で個別対応を受け付けている。		
41		定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	10		毎月カレンダーやお知らせをLINEでお知らせしている。Instagramやプログラムも活用している。		
42		個人情報の取扱いに十分留意しているか。	10		ブログやInstagram、口頭での連絡がある時にも、児童の個人情報が伝わらないように配慮している。		
43		障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	10		契約時に児童と保護者様の情報を共有し、情報を伝える際に気をつけることはスタッフ間で共有している。		
44		事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	5		教室の広さの問題もあり、地域住民を招待することは難しい。地域の行事に参加することしかできない。	
45		事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	3		マニュアルを作成しているが、周知が行き届いていない現状がある。	
46		業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9	1		避難訓練は行っているが、不定期に数回のため参加する児童やスタッフに偏りが出る。	
47		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	10		契約時に行っている。		

非常時等の対応	48	食物アレルギーのあることについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9	1	契約時に聞き取りをし、行っている。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	10			計画についての周知が足りていない部分もある
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	10		緊急時の対応が想定される際には、避難訓練や事前のお知らせなどで保護者様へ周知している。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	10			ヒヤリハットを残しているが、見直すことは少なく、さらに役立てていける方法を考えていく。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	10		虐待防止研修を設けるとともに、普段からスタッフの行動を見て、虐待にあたらぬように直していく努力をしている	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	10			身体拘束を行うことはないが、身体拘束について理解はしておく。

公表日 令和7年 1月 20日

事業所名 こぼんはうすさくら 庚午教室

保護者等数(児童数) 27名 回収数 20件(割合74%)

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1	16	2		2		パーテーション等を用いてその都度プログラムに適した環境作りに励んでおります。
	2	16			4		基本的に職員一名に対し児童二名を意識して配置しております。
	3	15	1		4		トイレには手すりを設け、室内には適度に視覚支援としてスケジュールやカードを提示しております。階段はバリアフリー化は難しい状況です。
	4	17			3		パーテーション等を用いてその都度プログラムに適した環境作りに励んでおります。
適切な 支援の 提供	5	18	1		1		今後も保護者様、各関係機関と情報共有を行いながらご利用者様が将来を笑顔で過ごされるよう支援してまいります。
	6	20					現在作成中です。
	7	20					
	8	17			3		令和6年4月以降に作成させていただいた個別支援計画には本人支援の五領域+移行支援、家族支援との関係性を提示させていただいております。
	9	20					
	10	20					季節のイベントや外出イベントなどとも工夫されていると思います。
	11	4	4	3	9		来年度より、近隣の児童館まつりに参加させていただこうと考えております。
保護者 への 説明 等	12	20					
	13	18			2		
	14	5	4	4	7		県や市、民間団体主催の研修会などがありましたら保護者様にもご案内させていただきます。
	15	19	1				送迎の際に事業所での様子やご自宅での様子をお伺いさせていただいております。
	16	11	4	1	4		ご相談ございましたらお気軽にご連絡ください。お待ちしております。
	17	18				2	
	18	4	2	6	8		現状出来ておりません。
	19	14	2		4		ご契約の際に説明をさせていただいております。ご相談があった場合は担当職員、必要に応じ全職員で話し合い、お伝えしております。
20	18			2		必要に応じご利用者様には絵カード等の視覚支援を活用させていただいております。	

	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	18			2	Instagramを見ている。	紙媒体による活動内容の報告については終了とさせていただきますがInstagramにて日頃の活動を掲載させていただいております。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	16			4		各ご利用者の個人情報につきましては鍵付き書類棚に保管し、保護者様にご利用者の写真をお送りする場合には許可を得てお送りさせていただいております。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	11	2	1	6		契約時に口頭での説明はさせていただいておりますが、ご自宅で保管していただく為の書類を作成中ですので今しばらくお待ちください。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	12	2	1	5		法令に基づき消火訓練、災害避難訓練を実施しております。Instagramにて避難訓練の様子もお伝えさせていただいております。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	14		1	5		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	13		1	6		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	19	1				
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	19	1			イベント時などはとても嬉しそうに通所しております。学校以外のお友だちに会えるのを楽しみにしています。	今後も楽しみながら療育が行えるよう、職員一同努めてまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	20					

公表日

令和7年 1月 20日

事業所名

ごはんはうすくら 庚午教室

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	8	パーティション等を用いてその都度プログラムに適した環境作りにも励んでいる。	室内で行うスポーツやボール遊びのプログラムは狭く感じることもあり、スポーツセンターの使用等検討していく。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	10	2	基本的に職員一名に対し児童二名を意識して配置しております。外出イベントの際の配置については特性などを鑑みて配置している。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	6	パーティション等を用いてその都度プログラムに適した環境作りにも励んでいる。室内には適度に視覚支援としてスケジュールやカードを提示しております。	階段はバリアフリー化は難しい状況です。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	5		
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	8	パーティションを用いて1人になれる空間を作っている。必要に応じイヤーマフも使用している。	部屋は同じため、他者が居るとの認識を完全には遮れていない。
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	9	3	毎月全体会議を行い改善に努めている。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10	2	ガイドラインアンケートの結果を全体で共有し、事業所全体として目標を掲げ取り組んでいる。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	11	1	毎月全体会議を行い改善に努めている。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	10		現状出来ておりません。必要に応じ検討していく。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9	3	実践的な研修については職員に通知し希望者を募っている。	
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	11	1		現在作成中です。
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	12	6	6か月以内に一度は面談し個別支援計画を作成している。	
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	12	2	毎月ご利用者様のモニタリングを各職員で行った後に会議を行い、現状の把握や今後の方向性の共通理解を図っている。	
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8	4	ご利用者様、保護者様に作成した計画をお渡しする前に職員に周知、把握してもらっている。	
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	12			
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	12	2	令和6年4月以降に作成させていただいた個別支援計画には本人支援の五領域+移行支援、家族支援との関係性を提示させていただいている。	
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	10	2	毎月複数人で話し合いの時間を設け、活動プログラムを決めている。	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	12	2	季節行事を積極的に取り入れている。またプログラムの発案も積極的にしてもらい、実施可能なものを検討している。	
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	12	2	個別に課題を設定しており、それに合った個別活動、集団活動を提供するように掛けている。	
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	6	毎日朝礼を実施し、情報共有に努めている。	
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8	4	ご利用者様が帰られた後に振り返りの時間を設けている。	
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	12	2	日々、療育日誌を書き、情報共有に努めている。	
	23 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	12	2	計画期間内にモニタリングを取ったうえで計画を作成しております。	



支援の提供	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	11	1	年齢に応じた自立支援、工作などによる創作、地元の公園やお店へのお買い物による地域交流、余暇活動を楽しみながら出来るよう努めております。	
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	10	2	自分の思いを伝える事が難しいご利用者様には絵カードの中から選択してもらえ等ご利用者様自身で選択できるような環境作りを努めております。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	12		児童発達支援管理責任者とともに必要に応じてその他の職員も同行するようにしている。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	6		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	10	2	情報共有が行える学校は積極的にさせていただいている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	2	10		保護者様に療育歴等はお伺いしているものの関係機関との情報共有は行っていない。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	1	11		義務教育の卒業者が居られないため今現在までは行っていないものの必要に応じて行っていく。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		12		研修を受けさせていただく事は多くあるものの日頃の連携は行なえてはいない。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		12		コロナ以降、交流の機会は無くなっていった。今後児童館等が開催している行事にお伺いさせていただけるよう計画している。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	2	10		参加できていない。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	12		送迎時には当日のご様子や、ご家庭や学校等での出来事をお教えいただけるよう努めている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	9	ご利用時に上手に活動に取り組めた方法等はお伝えさせていただいている。	外部研修のご案内をさせていただくことはあるが、研修の機会を設けることなどは出来ていない。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	11	1	ご契約時にお話しさせていただいている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	11	1	事業所本位になることがないよう、ご利用者様ならびに保護者様への聞き取りを行い計画書を作成している。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	12		児童発達支援管理責任者が対面にて説明し同意を得ている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	12		ご相談いただいたものについては事業所内で話し合った後に対応している。	こちらからアプローチすることでご相談しやすい環境を作っていく必要がある。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		12		保護者様参加型のプログラムから始め、少しずつ保護者様間でのコミュニケーションの作成、情報共有の場を提供していく。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	12		苦情受付の窓口があり、苦情が寄せられた際には職員間で話し合いの場を設けて今後の対応をご返答させていただいている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	12		現在インスタグラムにて活動内容を発信している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	11	1	個人情報には鍵付きロッカーで保管し、必要に応じ職員間で閲覧、情報共有を行っている。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	12		必要に応じご利用者様には絵カード等の視覚支援を活用させていただいている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	9		地域の方に参加していただけるような活動は行っていないのが現状です。
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9	3	法令に基づき、毎年各訓練、研修を行っている。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9	3	法令に基づき、毎年各訓練、研修を行っている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	12		ご契約時に病歴、現病歴などを確認してもらい必要に応じて医師の指示書をお願いしている。	

非常時等の対応	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	10	2	必要に応じて医師の指示書をいただき、全職員周知徹底している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	10	2	法令に基づき、訓練、研修を行っている。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	5		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	11	1	月に発生したヒヤリハットを議題に上げ、再発防止に努めている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	11	1	法令に基づき虐待防止研修を行っている。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	12		現在身体拘束を行わざるを得ない状況、ご利用者様は居られない為実施していない。	

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	こぼんはうすさくら庚午教室		
○保護者評価実施期間	令和 6年 9月 10日		～ 令和 6年 10月 15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	44 (回答者数)	35
○従業者評価実施期間	令和 6年 9月 10日		～ 令和 6年 9月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	13 (回答者数)	12
○事業者向け自己評価表作成日	令和 6年 11月 18日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別療育、集団療育に加え、自由時間も確保することで子どもたちの自然なコミュニケーションの場を作ることが出来ている。	好きな物を通じてお友だちと接することで、より楽しみを共有でき、自然なコミュニケーション能力を養えている。 また自主性を尊重しているため、逆に「何をしたらいいのかわからない」というお子さまも居られるので、時には職員が介入し、本人の「やりたいこと見つけ」をしたり、こちらから遊ぶものを提示して興味関心の幅を広げる取り組みも行っている。	場面場面に対応できるよう、ソーシャルスキルトレーニングをより深く実施し、その後の自由時間で実践、振り返りができるように一層取り組んでいきたい。
2	色々なプログラムが体験できる。	パターン化しないよう、プログラムの立案をチームで行い、新しいプログラムにも積極的に挑戦している。	他事業所や園、学校等の行事も参考にしながらさらに色々な体験を提供していきたい。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域との交流が行えていない。	情報収集不足 コロナ禍以降、他者(所)との交流を行うことに過敏になってしまっている。	地域の行事など情報収集し、参加していく。 また、地域の方々に当事業所を知ってもらうために色々なツールを活用していく。
2	保護者様同士の交流の場を設けられていない。	保護者様の就労等による日程の調整が難しいことや、当事業所が年末年始以外は開所させて頂いているため、スタッフの人員が不足してしまい開催が難しい。	スタッフの人員確保や、保護者様に向けて事前にアンケートを行い長期的に開催場所、日時を検討していく。
3			